

7月17日に終業式を迎えましたが、本学科の2年生は、造園技能検定3級合格を目指し、夏休み期間中も2週間にわたり実技練習に励んできました。

そして本日、いよいよ検定当日を迎えました。

検定員の方から試験に関する注意事項の説明を受けた後、緊張感のある雰囲気の中で実技試験がスタートしました。



厳しい暑さの中ではありますが、生徒たちはこれまで何度も繰り返し練習してきた成果を発揮し、一つ一つの作業を丁寧に進めていきました。2時間という限られた試験時間内での作業は決して簡単ではなく、練習では時間内に完成できないこともありましたが、しかし、本番では落ち着いて作業を進め、多くの生徒が練習以上の力を発揮することができました。



造園の技術は一朝一夕で身に付くものではありません。しかし、この2週間の集中的な実習を通して積み重ねてきた経験は、作庭に必要な基礎・基本の技術を身に付ける大きな一歩となりました。

今回の挑戦で得た知識や技術、そして最後までやり抜いた経験を、今後の授業や将来の進路に活かしてくれることを期待しています(*^。^*)